

# 足利風 -ashikaga-fu

2016  
6月号  
Vol. 44



絵：あべ あやこ

## 足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市

大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



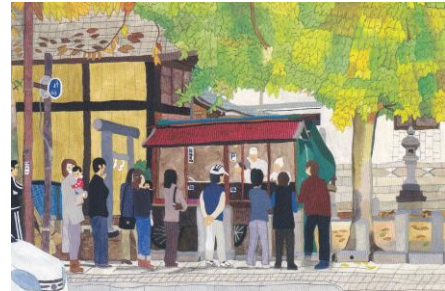
☆ ご案内 ☆

- \*特集！
- \*TOPICS
- \*私のボランティアことはじめ
- \*サークル紹介
- \*インフォメーション
- \*センターからのご案内

## \*「足利の極み」～とっておきの足利～\*

「足利の風」～もの語る街・ひと語る街～Innovation is Traditional—Spirits of Ashikaga～という足利市“市民力”創出協働事業により、全国に向けて足利の新しい魅力を映像で発信する試みが、大きな反響を呼んでいる。企画・足利叢林フォーラム、製作・足利市。プロデューサー・鈴木光尚、ラインプロデューサー・益本 仁&新井街栄、撮影&編集&監督・藤橋 誠、音楽・ケーナ奏者Ren、水彩画・川島直人。

多数の足利市民の協力で、足利市内で撮影された。構成は、初めと終わりは、伝統と未来に生きる子どもたちを主役にした。初山ペタンコ祭りの喧騒の後には、足利義兼が現世に浄土をと願った浄土庭園～足利が



全国に誇る古庭園～茶道の流れで和菓子・蕎麦～WINEの新しさ～国宝鑿阿寺での加藤登紀子コンサート&ボランティアたち～足利学校の楷の樹・孔子～華雨蔵珍之館～生涯学習の場と人の関わりでSPOT3・足利市民活動センター～小俣幼児生活団へと続く。十人の語り部が想いを語り継ぐ～樺崎寺浄土庭園・大沢伸啓、新藤家庭園&物外軒・外丸 実、巖華園・中島美智子、足高檀一雄詩碑・長 太三、和菓子司ふくしまや・福島幸治、そば蕎麦遊庵・根本忠明、Cfa—Backyard—Winery・増子敬公、画聖草雲・亀田悦子、SPOT3・山田雅俊、小俣幼児生活団・大川繁子。

足利の懐の深さを感動とともに再認識した、との評価をいただいた。新しい観光の視点は、単なる物見遊山ではなく、ホンモノの“ヒト”に出逢えることであり、伝統とはどの時代においても“革新(イノベーション)”の連続であるとの認識が必要なのだ。(M生)

## \*～センターの内も外も桜色でいっぱい！～\*

4月2日(土)午後、満開の桜を観ながら、足利市民活動センター恒例の「しゃべり場」が50名を超える参加者の笑顔の下で開かれました。「風通しの良いセンター」をめざす足利市民活動センターは、365日みなさまからの運営へのご提言などを承っておりますので、今回は、ご要望の多い、山田悦子さんの歌唱指導やゴスペルグループ“THE BANNA”のみなさんのご出演ご協力で、楽しい歌声喫茶風の集いとなりました。前後には参加者のみなさん方からそれぞれに前向きなご意見も頂戴することができました。ありがとうございました。外では、満開の桜の樹の下で、日ごろから地道な活動をつづけている“縁(えにし)の会”のみなさんが、お弁当を広げながら談笑する楽し気な様子も見られました。まさに「散る花の中に胡蝶の二つ三つ」(悲天)という俳句の光景があふれたセンターの内外でした。

## \* 足利クリーンハイキングクラブ「山和会」\*

～会長 春山 昌義～

「ゴミのない足利の山を目指して…」1995年「決して無理をせず、安全で楽しいクリーンハイキング」を目的に…を合言葉に、市内の会社員・自営業の有志により発足しました。ゴミ拾いをしながら低山ハイキングを楽しむ市民ボランティアグループの「山和会」（「和をもって山を楽しもう」と山和会と命名）この間「ゴミのない足利の山を目指して、毎年活動をした清掃他の回数は187回になりました。（3月現在）



登録会員も約150名となり、家族でのご参加や若い人たちも増加して和やかな雰囲気の中で活動しています。そして昨年2015年秋に20周年を迎えました。

集めたごみの量は、計量しただけでも約8tになります。

当会の前身は、平成元年5月9日に市内企業の有志6名で発足した「596会」であります。

足利市中心部の織姫神社～両崖山、花火大会翌朝の河川敷清掃、市内各方面にわたり年間約10回の清掃活動を実施しています。

さらに、会員が集めた空き缶のプルタブを売却し車いすやフットマッサーを買って足利市社会福祉協議会に寄贈しています。

20年は一つの区切り、ここまで無事に活動を続けてこられたのは会員のお陰であり、今後も継続して地域社会のために…と考えております。

今迄に、足利市生涯学習奨励賞・足利市社会福祉協議会感謝状・日本列島クリーン大作戦小さな親切運動本部表彰状・ソロプチミスト日本財団・日本生命財団や足利商工会議所から感謝状等を授与されています。

今年、2月に宇都宮市の総合文化センターに於いて行われた第12回下野ふるさと大賞最終審査会のプレゼンテーションに於いて大賞を受賞しました。

人が見えてもいなくとも、黙ってコツコツ実行しているボランティアの会でこれからも仲間と楽しく継続していきたい…それが会員全員の意見であります。



## \* ゴスペルグループ “THE★BANNA” \*

足利の誇る国宝ばんな寺に因んで名前をつけたTHE★BANNAは、足利でただひとつかもしれないゴスペルグループです。

20代から70代までの幅広い年齢層のひとたちが、月に2回いっしょに歌っています。最近では振り付けも加わって歌って踊れるグループになってきました。また、英語のゴスペル曲だけでなく日本語の曲も歌っています。年に7～8回のライブイベントでは参加の皆様から「元気をもらった」といううれしい感想をいただくことも多くなりました。

ご興味のある方は、ぜひ練習を見学にいらしてください。いつでも大歓迎です。

場所、時間などは市民活動センターまでお問い合わせください。

## ① インフォメーション ①

### ☆「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

だれにでも心に残る一冊の本があります。童話・小説・詩集・・・等々。  
その一冊の本を導きの糸として、案内人を囲んで、参加者のみなさんと一緒に、  
ワイワイガヤガヤ・・・と。新しい人との出会いや物語を紡いでみませんか。  
どうぞ、お気軽にご参加ください。

★6月23日(木)午後2時～

\* 本 : 中原中也詩集

\* 案内人: 日下部悲天さん

\* ひとこと: “「汚れっちまった悲しみに 今日も小雪の降りかかる・・・」で知られる詩人・中原中也是山口・湯田温泉の生まれ。30歳で夭折。その評価は年々高まっている。評論家・小林秀雄などとの交友でも知られる。「ゆふがた、空の下で身一点に感じられれば、万事に於いて文句はないのだ。」”

★7月14日(木)午後2時～

\* 本 : 稲垣真美「その前夜、樹海に死す」

\* 案内人: 長 太三さん

\* ひとこと: “昭和3年3月、旧制東京高校教授でウェルズの「世界文化史大系」の訳者・北川三郎と恋人の足利出身の女給・小林よね子は、富士の裾野・青木ヶ原で情死した。この事件は、樹海心中第1号として、当時の新聞に大きく報道された。二人の純愛のウラには何があったのか・・・”

■会場: 足利市民活動センター

■参加費: 無料

■お問い合わせ・事務局: 足利市民活動センター ☎44-7311

## \* センターからのご案内 \*

### ☆みんなの広場 ～ 6月・7月のご案内 ～

\* 彩美会 水彩画展(5月30日～6月9日)

\* 明日はきっとやって来る! 新井栄司 東北の5年写真展  
(6月13日～6月23日)

\* 木彫仏像祈りの世界 東日本大震災鎮魂の賦  
(6月27日～7月7日)

\* シルバー大学校 作品展(7月8日～7月22日)

### ☆相談室&講座のご案内

\* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照

\* 講座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

### 編集後記

ピカピカのランドセルが見えなくなるまで見守る親御さんの姿を目にすることがあります。あんなに想われながら育ったこともすっかり忘れ、「一人で育ったのよ!」なんて大きな顔をしている自分に反省する今日この頃です。(しおぱん)